

# 町長の「再議」申し立て否認！ 5日、臨時議会にて

## 政府の給付対象外の世帯に5万円支援が確定

再議（町長権限による議決のやり直し）の結果、議員提案の修正補正予算が再議の議決に必要な規定の3分の2以上の7人の賛成で可決。政府がこの間、給付対象とした子育て世帯・住民税非課税世帯以外の世帯に5万円支給が確定することになりました。

町長は再議の理由として主に、①「財政危機宣言」を発している下で財政ひっ迫をさらに招くこと、②政府の追加対策で「課税世帯であっても、収入減少世帯」も救済策が打ち出されていることなどをあげ、9月議会最終日（9月26日）で可決された議員提案の修正予算は承認できないとしていたもの。

本会議に先立って開かれた全員協議会では活発な論議が交わされ、「再議」の理由がことごとく事実にも反していることが明らかになり、町長の主張が論破されました。

西澤議員は、急激な10月からの諸物価高騰への対策が甲良町政として、全く策定されていない中で、政府の対象外の世帯に町独自の支援を行うことは積極的な意義があると強調し、修正予算案への賛成を呼びかけました。

**再議決は重いもの  
否定は許されない**

新聞報道によると、野瀬町長は「事業の執行をするかどうか、慎重に考えたい」と述べているようで、あくまで政府の給付対象外世帯への5万円給付には否定的な対応に見えます。もしも事業執行を中止するようなことになれば、議会議決を否定し、町民の期待を裏切ることになりかねません。

### 町長「10億円の 積立金が必要」？

野瀬町長は今回の5万円給付を否定する理由のひとつとして、財政調整基金（使途自由な積立金）は、今後の財政運営、事業計画を見れば、甲良町の財政規模からすれば約10億円は必要などと説明しました。私は、臨時会での口頭説明ではなく財政シミュレーションを書面で示すべきで、令和3年度末決算で約5億円の財政調整基金があり、5,500万円の支出で町財政が枯渇することはない、と指摘しました。

もう一つ、町長は「ばらまき」との批判を受ける恐れ、をあげましたが、「現金を無限定にばら撒く」わけではありません。政府の対象外で希望される世帯に支援を、と提案したものです。

今大事なのは、これほどの急激な物価高騰に対して政府が緩慢な姿勢で終始している中で、町政が率先して町民の暮らし・命を守ることでないでしょうか。5日の臨時会で再可決した報道を見た町民は大いに喜んでおられます。

（西澤町議の話）

### 甲良民報

2022年10月9日 号外  
発行責任：日本共産党甲良町議員  
連絡：甲良町在士 373（西澤）  
Tel：38-4949 Fax：38-2242